

令和 7 年度鹿島のファンづくり推進業務委託 企画提案書作成要領

この要領は、鹿島市が実施する「令和 7 年度 鹿島のファンづくり推進業務(以下「本業務」という。)」に関し、プロポーザルに参加しようとする者(以下「プロポーザル参加者」という。)が、企画提案書(以下「提案書」という。)を作成するために必要な事項を定めるものである。

プロポーザル参加者は、「令和 7 年度 鹿島のファンづくり推進業務委託プロポーザル実施要領」を確認の上、作成要領により、必要な書類を提出するものとする。

1 一般的な留意事項

- (1) 契約の内容を定める仕様書(以下「契約仕様書」という)は、「令和 7 年度 鹿島のファンづくり推進業務委託仕様書」(以下「仕様書」という)をもとに、プロポーザル審査の結果、優先交渉権者と協議して作成する。
- (2) 費用の見積もりにあたっては、全業務を遂行し、提案内容を実現するために必要な経費を積算して提出するものとする。
- (3) 契約仕様書の確定により経費の増減の必要が生じた場合においては、受託候補者と鹿島市において協議の上、見積価格から当該経費の増減額に相当する額を増減した金額で契約を締結するものとする。
- (4) 企画提案内容は、必ず提案者が自ら実現できる範囲で記載・提案するものとする。
- (5) 参加者が過去に取り組んだ同様のまたは類似の実績について、可能な範囲で記載すること。

2 提案書作成上の留意事項

- (1) 提案はすべて提案書に記載すること。
- (2) 提案は 1 者につき 1 提案とし、提出後の変更・加筆は一切認めない。
- (3) 企画提案書は任意様式とする。
- (4) 原則として A4 判両面印刷(長辺綴じ、ホチキス 1 か所)とする。図表等の表現の都合上、用紙及び記述の方法を一部変更することは差し支えないものとする。
- (5) 文字サイズは 12 ポイント以上とし、各ページにページ番号を付与すること。

3 見積書

- (1) 本業務の実施に要する費用の内訳(項目、数量、単価、金額等)を明らかにした見積書を提出すること。
- (2) 見積書は、提案書と別様で A4 版任意様式により作成すること。

4 提出書類

書類名	提出部数
企画提案書	8 部(正本 1 部、副本 7 部)
見積書	1 部

5 企画提案書の構成

仕様書の趣旨に沿い、提案書には次の内容を順に記載すること。現行の仕様書に対し、より効果的に目標を達成するために必要だと思われる改善提案を行う場合は、改善に関する項目や提案を分かりやすく提示すること。

(1) 本業務内容への理解

本業務を遂行するための姿勢や基本的な考え方、コンセプト、方針についてわかりやすく記載すること。

(2) 広報プランの策定

簡易的なプランを提示し、プラン策定までの具体的な流れを記載すること。また、プランは単年度ではなく、中長期的なものとする。

過去の実績を踏まえた SNS や広報体制の見直し方法を記載すること。KPI 設定する項目とその進捗確認方法を提案すること。インナー及びアウトタープロモーションの方針・実施手法を記載すること。

(3) アクションプランの設定

広報プランをもとにしたアクションプラン(案)を記載すること。過去の実績を踏まえた、市民共創や自発的に動く仕組みの提案を行うこと。

(4) 市民共創プロジェクトの設計・運営

本業務におけるワークショップの立ち位置について記載すること。

ワークショップの企画内容や運営手法について、参加者による自由な発想が掻き立てられる仕掛けの工夫、自由に発言ができる場づくり、参加者の偏りをなくするための具体的な内容を提案すること。また、提案した手法を選択した理由や考えについても記載すること。想定される参加者(ターゲット層)について記載すること。

自発的に情報発信及び地域づくりに参加する人材育成の視点を取り入れること。情報発信に関する研修内容や参加者層を設定し、提案すること。

(4) プロモーション活動におけるビジュアルの作成

ビジュアルを制作するにあたり、どのような観点から制作を行うのかを記載すること。また、ワークショップでの意見がどのように活かされるのか、ビジュアルの決定方法について記載すること。

また、決定の発信に当たり、市の魅力が伝わり、市民をはじめとする多くの人からの共感を得られるような効果的な情報発信の手法や媒体を提案すること。

(5) スケジュール

業務期間全体のスケジュール案を提示すること。作成するビジュアルの納品期限は、提案者が業務期間内で設定し、スケジュールの中に明記すること。

(7) 実施体制

本業務の責任者及び担当者をイメージ図を用いて記載し、業務毎に携わる人数を明記すること。再委託や職員、市民などの協力を予定している場合は、体制の中に組み込んでおくこと。

(8) 独自提案

仕様書には記載されていないが、本業務を遂行する上で必要と思われる提案を行う場合は、提案書の最後のページに記載すること。また、提案されたことを実施する上での効果等も記載すること。